

【重点審議事項の論点整理について（総務・企画常任委員会）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>県民との相互理解を深める情報発信のあり方について</p>	<p>令和2年4月28日 常任委員会 ・議第91号令和2年度滋賀県一般会計補正予算（第2号）のうち知事公室所管部分について</p> <p>令和2年7月10日 常任委員会 ・議第110号令和2年度滋賀県一般会計補正予算（第6号）のうち知事公室所管部分について</p> <p>令和2年9月9日 常任委員会 ・県民との相互理解を深める情報発信のあり方について</p> <p>令和3年2月9日 常任委員会 ・県民との相互理解を深める情報発信について</p>	<p>新型コロナウイルス感染症に関する広報の補正予算について</p> <p>”</p> <p>広報媒体活用のあり方に関する懇話会での検討について</p> <p>県広報の方向性の検討および（仮称）滋賀県広報戦略の策定について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症に係る情報を県民に分かりやすく伝えるために、知事の顔を見せて、知事の声でしっかりと発信されたい。</li> <li>県民が新型コロナウイルス感染症に係る支援等の情報を受け取った後、特に3月、4月はどう対応してよいか困られたと思うので、様々な情報を丁寧に発信していく心がけられたい。</li> <li>本県における広報媒体活用のあり方に関する検討について、県が方向性を示した上で専門家の意見を聞くべきではないか。</li> <li>ネット上に存在するビッグデータの中から、今、滋賀県内でどういったトレンドワードが多くつぶやかれているのかということを緻密に分析することは、情報発信を行う上で非常に有用な材料になると思うので、情報政策課とも連携し取り組まされたい。</li> <li>県が発信している情報は、広報課が統括できるようにしておくべきである。</li> <li>県が発信した情報がどのように伝わったのか、伝わったときにどのようなことが起こったのかをしっかりと把握し、今後の情報発信の改善につなげていく必要がある。</li> <li>コロナ禍において県の様々な相談窓口には、県民から支援を求める声などが届いているはずであり、その声を集約し必要な情報発信につなげていくべきである。</li> <li>コロナ禍で県の施策の情報が県民にしっかりと伝わっていたのか、県民の理解を得ていたのかという課題があったので、これから策定する広報戦略も踏まえて、県民との相互理解を深める情報発信を構築されたい。</li> </ul>	<p>令和3年度（仮称）滋賀県広報戦略策定予定</p>